

第1回 生活部会 報告書

令7年4月23日

開催日時	令和7年4月23日(水)13:30～	場所	千曲市ふれあい福祉センター 会議室5
部会員	稲荷山太陽の園/ともいきライフ月影/いなりやま福祉会はなたば/いなりやま福祉会グループホーム/いなりやま福祉会相談支援事業所/風ととくべえ/地域生活支援センターCoCoちくま/ボスケット/千曲市手をつなぐ育成会/歩夢ヘルパーステーション/カントリーロードとぐら/ウィルグループホーム/坂城町社会福祉協議会/千曲市福祉課/千曲・坂城障がい者(児)基幹相談支援センター/坂城町福祉健康課		
			出席 23 名

(1) 報告事項 ほか

<p>◆基幹相談支援センターより R7年度の自立支援協議会の年間スケジュールについて資料に基づき説明があった。 また、6月後半以降に権利擁護に関する研修会を開催予定であることが補足された。</p> <p>◆行政より 障害福祉計画の進捗状況について資料に基づき説明があった。</p>
--

(2) 協議事項 および 内容

<p>◆今年度の生活部会活動内容(活動計画)について 部会長からR6年度の活動報告およびR7年度の活動計画と年間スケジュールについて、資料に基づき説明があった。 今年度の研修会は、『個別支援計画に基づく支援の統一について』をテーマとして、はらむら悠生寮の奥山隆生氏にご講演をいただくことになった。</p> <p>◆グループワーク 出席者を4つのグループに分けて以下の2つの議題に沿って意見交換をし、最後に各グループで話し合った内容を全体に向けて発表した。各議題に関する主な意見は以下のとおり。</p> <p>「1. 個別支援計画について、事業所内で工夫していることはありますか？」</p> <ul style="list-style-type: none">・ 利用者の状況につきICTや引継ぎノートを活用するなどして、多方面からの情報収集に努めている。・ 記載が具体的になるように配慮し、第三者委員会や関係者会議を通じて客観的で効率的な計画に努めている。・ 利用者本人の希望や意見を尊重し、本人の成長が計画に反映されるように配慮している。・ サビ管に業務が集中しすぎないように、事業所独自のフォーマットを活用するなどして計画作成をサポートしている。 <p>「2. 個別支援計画について、悩んでいることや課題に感じていることはありますか？」</p> <ul style="list-style-type: none">・ 計画作成者と実際の介護者の熱量に差があり、実践に落とし込んでいくことが難しい。・ 利用者本人よりも家族の意見などが強く反映されてしまい、利用者のニーズと合致しない計画になることがある。・ 利用者の高齢化に伴う意欲の低下や能力の減退が生じており、介護の割合が高くなる傾向がある。・ 利用者のニーズが頻繁に変わるので、計画の目標が曖昧になりがちで、支援者間で認識の統一が図れない。 <p>今回のグループワークの内容を踏まえて、次回の奥村氏の研修会が開催されることを伝え、第1回部会は終了した。</p>

(3) 結果

予定した内容はすべて完了した。
地域連絡会で検討したい課題 [特になし]

(4) その他 (お知らせ・次回開催日など)

長野県知的障がい者協会の会員事業所を募集中。 魅力発信動画をDVDにして各事業所に配布するので、採用活動などに活用してほしい。 第2回生活部会(研修会)は、7月24日(水)13時30分から。
